

1. 科目名 (単位 数)	経営学入門 (2単位)	3. 科目番号	GELA1352
2. 授業担当教員	埜本 一雄		
4. 授業形態	テキストの輪読とその解説が中心となるが、講師からの一方通行ではなく、ディスカッション (学生からの講師への質問、学生間のディスカッション等) を伴ったものにする。	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	経営戦略論、マーケティング論、福祉と経営などに発展していく重要な基礎科目です。		
7. 講義概要	<p>数社の経営実態に関する話をケーススタディーを通じて学ぶことによって、現実に行き起きている経営課題について考える。多くの経営課題は、経営学の理論を当てはめることによって解決できるが、教科書通りに問題が起きることはめったにないので、経営の現場では、そこで何が起きているのかを見極める力が必要になる。ケーススタディーは理論的に正しいか、ということよりも、そこで何が起きていたのか、を見極める力を身に着ける方法論であると考えべきであろう。この講義では、経営学を理論的に学ぶ前に、まず経営の現場からモノを考える習慣をつけること、また経営学に関わる基礎的な用語等の理解に主眼を置き、議論を深めていく。</p>		
8. 学習目標	<p>1. 経営学に関心を持てるようになり、柔軟な思考力が身につくようになる。 2. ケーススタディーを通じて、何が問題となっているのかを発見できるようになる。 3. ケーススタディーを通じて、問題となっている課題の解決策を考えられるようになる。</p>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポ ート課題	1毎回の授業の中でケーススタディーなどを通じて学んだことを受けて、教員が出す課題について自分の意見を考えて発表していただきます。中間まとめの後に総まとめの前に、それまでの学習内容を受けて、理解を確認する目的も持つ課題レポートを提出していただきます。		
10. 教科書・参考 書・教材	<p>【教科書】プリント教材を用います。 【参考書】ピーター・F・ドラッカー著・上田惇生訳『マネジメント[エッセンシャル版] - 基本と原則』ダイヤモンド社、2001</p>		
11. 成績評価の規 準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 何が経営課題であるということに気付いているか。 2. 発見した経営課題は何が問題であるかを考えることができるか。 3. 発見した問題の解決策を考えることができるか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。]</p> <p>1 授業への積極的参加 総合点の35% 2 発表・報告 総合点の45% 3 課題レポート 総合点の20%</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>企業を経営する立場になる場合にも、組織の一員として働く場合にも、必要となる基礎知識を、色々な企業のケーススタディーなどを通じて、幅広く学ぶ科目です。教員のリアルビジネスの世界での30年の経験もふまえて、具体的な企業活動を描くビデオ視聴の機会をできるだけ持ちつつ、分かりやすい授業を心がけます。将来の現場で役に立つ原理原則を学ぶことができますので、一歩ずつ理解を深めてください。</p>		
13. オフィスアワー	授業中に指示します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	企業とビジネス	事前学習	シラバスの内容を基に、学習内容の全体像をあらかじめ理解しておく。
		事後学習	学習内容を身近な企業のケースに当てはめてまとめ、理解を現実的にする。
第2回	企業の目的・成果と会社制度	事前学習	身近な企業の目的や成果とは何かについて考えてみる。
		事後学習	著名企業のHPを見て、その目的や目指している成果、採用している会社制度についてまとめる。
第3回	経営戦略	事前学習	著名企業がどのような経営戦略を採用しているのか、調べてみる。
		事後学習	著名企業の経営戦略について、HPを見て学習内容を当てはめてまとめ、理解を現実的にする。
第4回	経営組織	事前学習	興味ある企業の経営組織について、調べてみる。
		事後学習	その企業が採用している経営組織とその理由について、学習内容を当てはめてまとめ、理解を深める。
第5回	マーケティング	事前学習	一般企業がマーケティングをどのように展開しているのか、調べてみる。
		事後学習	興味ある企業のマーケティング活動について、学習内容を当てはめてまとめる。

第6回	人的資源	事前学習	身近な企業勤務者がどのような働き方をしているのか、考察する。
		事後学習	その企業勤務者の働き方に、学習内容を当てはめてまとめ、理解を深める。
第7回	中間まとめ	事前学習	ここまでの学習内容をレビューして、理解が不十分な部分について、教員に質問できるようにしておく。
		事後学習	理解が不十分だと考えた部分について、よく復習し理解を深める。教員が与える課題に関するレポートを作成して提出する。
第8回	財務	事前学習	企業にとって、お金が持つ意味を考えてみる。
		事後学習	著名企業のHPで投資家情報を見て、学習した内容がどのように説明されているのか、確認する。
第9回	企業統治	事前学習	最近の企業の不祥事について、調べてみる。
		事後学習	実際の企業不祥事について、何があったのか、何が理由だったのか調べ、学習内容をふまえてまとめ、理解を深める。
第10回	グループ経営	事前学習	わが国の著名な企業グループには、どんなところがあるのか、調べてみる。
		事後学習	著名企業グループについて、学習内容を当てはめてまとめ、理解を現実的にする。
第11回	グローバル経営	事前学習	わが国で活躍する外資系企業にはどんなところがあるのか、調べてみる。
		事後学習	わが国企業がグローバル化する必要性をふまえて、今後活躍する企業はどんなところか、考察しまとめる。
第12回	ベンチャー	事前学習	今注目されているベンチャー企業はどんなところか、調べてみる。
		事後学習	ベンチャー企業から大企業に発展した企業（ソフトバンクや楽天など）がなぜ成功したのか、学習内容をふまえてまとめる。
第13回	企業経営とIT	事前学習	企業においてITがどのように活用されているのか、調べてみる。
		事後学習	ITをうまく活用している企業について、学習内容を当てはめてまとめ、理解を深める。
第14回	経営倫理	事前学習	社会的な貢献活動に積極的な企業はどこか、調べてみる。
		事後学習	企業の真の社会貢献は何なのか、学習内容を著名企業の活動に当てはめてまとめ、理解を深める。教員が与える課題に関するレポートを作成して提出する。
第15回	総まとめ	事前学習	ここまでの学習内容をレビューして、理解が不十分であった部分を抽出し教員に質問できるようにする。
		事後学習	期末試験に向けたレビューの予定を立て、実行する。
期末試験			